

手話サークル「希望」

これまで

手話サークル「希望」は昨年創立 30 周年を迎えました。設立当初から佐倉市ろう者協会等と協力して福祉学習を支援したり、福祉祭り等で手話体験コーナーを設けるなど、手話の普及と聴覚障がい者への理解促進に努めてきました。また、高齢者介護施設で聴覚等に障がいのある方との会話を楽しむ「お話ボランティア」などの活動も行ってきました。

平成 12 年 3 月には他団体と協力して、佐倉市に手話通訳の設置を求める要望書を提出し、翌年 9 月に設置事業が開始された後も、緊急時の対応など制度の充実を目指して要望活動を継続するなど、聴覚障がい者の情報保障に努めてきたところです。

さらに、平成 26 年 6 月には手話言語法制定を求める意見書の提出について、市議会に請願書を提出(採択)するなど聴覚障がい者の権利と生活を守るための運動を続けてきました。

今、そしてこれから

聴覚障がい者と共に、会の運営は役員を中心に一人一役を担い、軽スポーツ・ハイキング等の行事の他に、聴覚障がい者の理解につながる映画『咲む』の上映会、小中学校の福祉学習のサポート等の対外的な活動にも取り組んでいます。例会は会員を2班に分け、交代でトピックスの提供や学習会の運営を担当しています。例会後半に活動報告や各種活動の協力者募集・調整を行っています。

会員の入会のきっかけや目的、活動への思いも様々ですが、このサークルが聴覚障がい者にとってコミュニケーションの壁のない楽しくくつろげる場でありたいと思います。

そのためには、例えば、聞こえる人達にとっては、何気ない雑談であっても、話の内容が届かない人がいるということ意識して行動したいものです。



市内中学校での福祉学習の様子

また、聴覚障がい者の歴史や背景・困り事を学び、手先だけの手話学習にならないように留意し、聴覚障がい者との話し合いを通じて共に歩む活動を続けることが大切です。

文：手話サークル「希望」中村、小野崎

手話サークル「希望」 会員 40 名

発足：1992 年(平成 4 年) 4 月
活動内容：手話の学習、聴覚障がい者との交流
活動日：毎週木曜日 午前 10 時～12 時
活動場所：西部地域福祉センター

学びたい気持ちと、好奇心があふれていました！



手話サークル「希望」定例会の様子

手話サークル「希望」の定例会を見学してきました。毎週開催なのに参加率が 8 割と高く驚きました。好奇心と学びたい気持ちをお互いに尊重し、みなさん楽しく過ごされていました。アクティビティを多く取り入れた内容で、聞こえない人も聞こえる人も、心の広いおらかな方がたくさんいらして、賑やかな雰囲気づくりを心掛けることで、お互いのコミュニケーション力がアップしているのでしょう。

取材：心のふれあいボランティア「ひびき」高橋

心のふれあいボランティア「ひびき」

「ひびき」の活動

私たちは、個人宅や高齢者介護施設を訪問し、入居者やデイサービスを利用されている方々に寄り添い、話を聴かせて頂く傾聴活動を行っている団体です。



話を聞かせていただく…

傾聴とは、相手の話「耳」だけでなく「目」や「心」を傾け、真摯な姿勢で相手の立場に立って、気持ちに共感しながら理解を示すことで、心のケアができるコミュニケーション技術です。

相手の話の善悪や好き嫌いの評価をすることなく聴くこと(自分の価値観を押し付けない)。また、相手の話を否定せず、なぜそのように考えるようになったのか、その背景に肯定的な関心を持って心に寄り添って聴くことです。

年間の活動

- 定例会の開催 (年 3 回)
会の運営についての話し合いや外部講師を招いての勉強会の場です。
- 研修会の開催 (年 2 回)
会員の親睦や活動を通じての悩みや課題について話し合う場です。
- 会報「ひびき」の発行 (年 2 回)
活動報告や今後の活動予定、テーマに基づいた会員からの投稿文等を掲載しています。
- 傾聴ボランティア養成講座の開催 (年 1 回)
傾聴の理解者を増やすと同時に、会員の募集を兼ねて実施しています。



定例会の様子

心のふれあいボランティア「ひびき」 会員 47 名

発足：2005 年(平成 17 年) 7 月
活動内容：施設や個人宅での傾聴活動、養成講座の開催、他
活動日：月 1 回 1 時間
活動場所：市内高齢者介護施設・個人宅



養成講座の様子

文：心のふれあいボランティア「ひびき」高橋

誰かと話すことの楽しさを実感しました！

高齢者施設での活動に同行しました。利用者の方と向き合い、ときに相づちを打ち、落ち着いて話を聞いている姿に感心しました。他の利用者さんもそれぞれに自由な時間を過ごしていて、いい感じでした。個人宅は 2 人 1 組での活動と伺いましたが、組んでいる方を信頼してコミュニケーションが取れているからこそできることだと思います。新型コロナウイルスは 5 類に移行しましたが、それでも傾聴活動を続けていくことは大変なことだと思います。

今日は、とても素敵な時間を過ごさせていただきありがとうございます。取材：手話サークル「希望」伊藤

